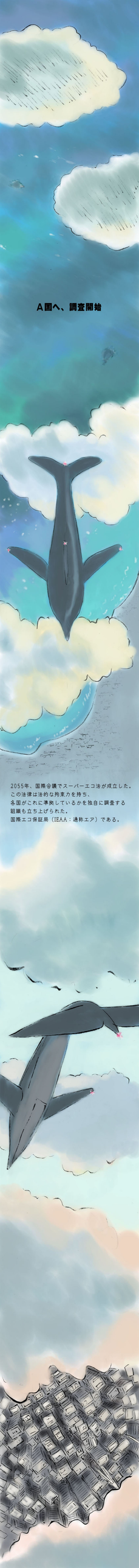
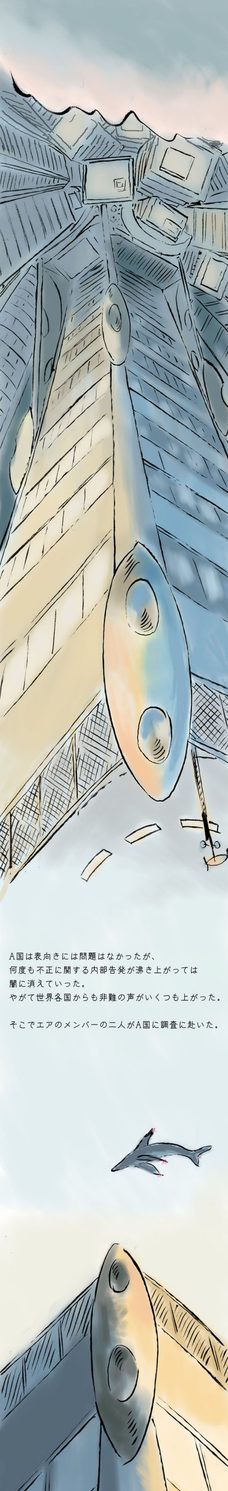

A国へ、調査開始
2055年、国際会議でスーパーエコ法が成立した。
この法律は法的な拘束力を持ち、
各国がこれに準拠しているかを独自に調査する
組織も立ち上げられた。
国際エコ保証局（IEAA：通称エア）である。



A国は表向きには問題はなかったが、
何度も不正に関する内部告発が湧き上がっては
闇に消えていった。
やがて世界各国からも非難の声がいくつも上がった。

そこでエアのメンバーの二人がA国に調査に赴いた。

この国の山には
黒車のひとつも無いのか？
さっと じゅ～よ～な
理由があるんでしょうね。
お待ちしてましたよ、
ハンマーさん、シランさん。
環境大臣のカトウです。
この国には
黒車のひとつも無いのか？
ははは、もう お仕事ですか？
それはここが海外だからですよ。
南の谷岸部には
たくさん黒車がありますよ。
海内でも黒は吹いている。
優先順位を付けながら
試べ試覚知り回んです。
それより、まずは荷物を降らして
夕食でもどうですか？
このすぐ階下にホテルと食事の
用意がしてあります。
こちらが警察のサトウ長官。
汲所からはこのクグ局長がごいっしょします。
身辺の警護と調査協力にあたります。
1か月の短い間ですが、
成果が出るよう協力いたします。
スーパーエコ車が発行されてから
世界各国で改善が消えていそうですね。
これほどの改善が見れるのは
今では日産だけでしょう。
単に明かりを消しているだけではない。
高い技術で補くても不便にならないシステムを導入し
多様な生産と共存していたのに
食の場こそ取り戻していないのだ。
いやーこんな立派な改善は初めてです。
いっぱい飲かにたる立ち回数が難い非常が
いくつか残っている日産ならではの
事情あってこそでしょう。
すばらしいです。
うん、実に素晴らしい改善だ。
シランは水蒸気タバコをふかせて微笑んだ。

書類調査

翌日から書類調査を開始した。

二人が指示した書類が次々と
会議室に運び込まれた。

たとえば
エネルギー収支報告書と書かれた書類と
過去一〇年分の工事会議で
報告された内容との
整合性を調べるなど、
そこから枝葉を伸ばし、
矛盾が無いかを多岐にわたり調べた。

紙の書類はもちろん、電子書類も調べた。

時には、領収書の控えも調べた。

夕方、その日の結果を
カトウ大臣とクグ局長立会いの元
TV会議でエア本部に報告した。

カトウ大臣は会議で
いつも満足げだった。

連日「問題なし」の報告が続いた。
そして一週間後に書類調査は終わった。

書類調査が終わると次に、
現場の調査を始めた。

発電所調査へ

エネルギー収支報告書に記載されている
発電所を任意に指定し、訪問した。

首都近くの火力発電所からはじまり、
周辺都市の火力発電所や水力発電所、
さらに、地方の地熱発電所や
バイオ発電所も調査した。

昨年の稼働実績を
月別に見せてください。

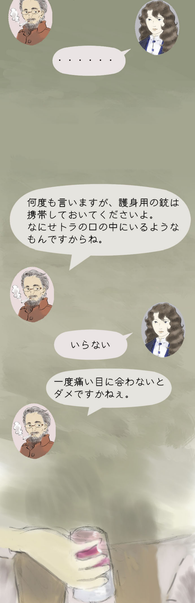
設備の３０％が整備中で
停止中とあるが、
どの設備がそれに該当するのか？

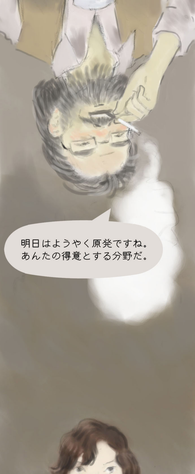
原材料の入荷実績表を・・・

・・・なるほど、確かに。

そしてまた一週間が過ぎた。

～♪
ガヤ
ガヤ
うまいな、これ


特に決定的な不適合は無いな。


単に技術的に遅れているだけのように見えますね。
エアから技術指導者を派遣して終了ってパターンですかね。
・・・・・・

A国も以前は高い技術力に定評があったんだがなぁ。
古い技術に固執しすぎたのかな？
・・・・・・

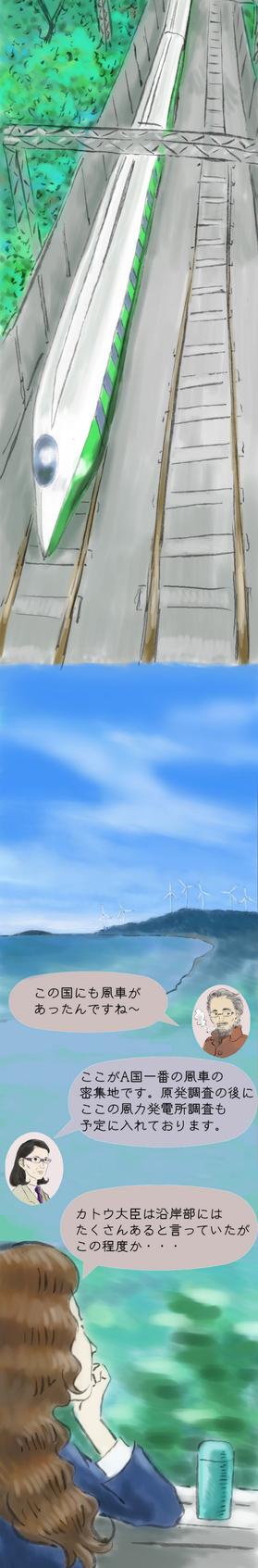
何度も言いますが、護身用の銃は携帯しておいてくださいよ。
なにせトラの口の中にいるようなもんですからね。
いらない
一度痛い目に会わないとダメですかねぇ。

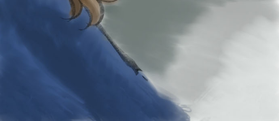
明日はようやく原発ですね。
あんたの得意とする分野だ。

・・・
おお、怖っ

原子力発電所へ

一番首都に近い原発があるのは
高速列車で三時間ほど離れた
南の沿岸部だった。

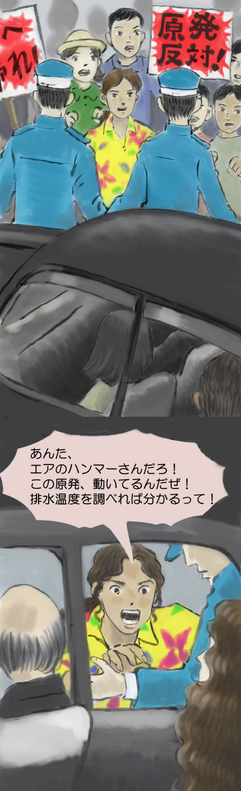




この国にも風車が
あったんですね～

ここがA国一番の風車の
密集地です。原発調査の後に
ここの風力発電所調査も
予定に入れております。

カトウ大臣は沿岸部には
たくさんあると言っていたが
この程度か・・・

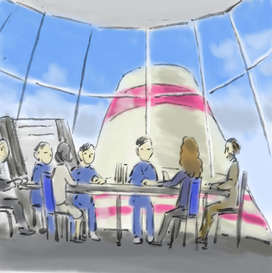

ワイ
ワイ
ザワ
ザワ

原発反対!!

あんた、
エアのハンマーさんだろ！
この原発、動いてるんだぜ！
排水温度を調べれば分かるって！

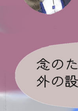
虚偽の宣伝活動は
法的に取り締まることが可能だ。
あいつをしょっぴけ。

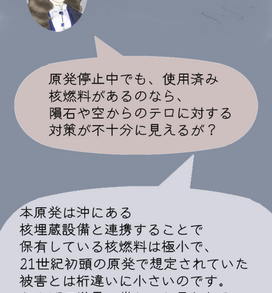
この原発は先に説明した通り
停止中です。
中に入って調査すれば分かります。
・・・



資料や計器類は、
原発が停止中であることを示していた。

すぐさま排水温度モニター表が
提示され、問題ないことを言われる。





深海底地層下核燃料埋蔵施設へ

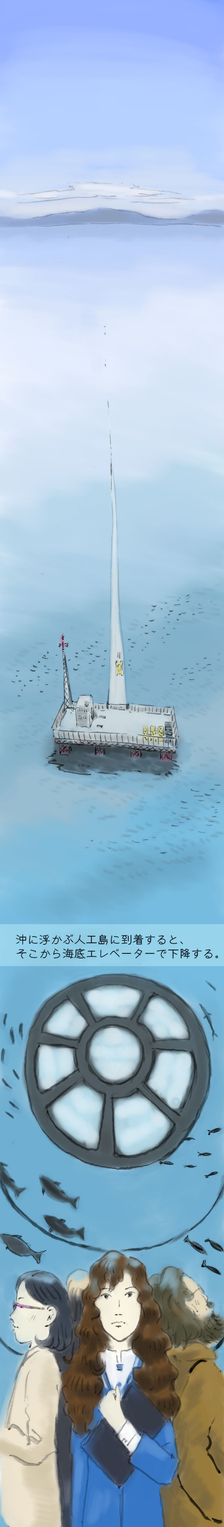
水平線まで一本の道路以外見えなかった。

陸地から50km以上離れた施設へと
専用道路を、専用車でひた走った。

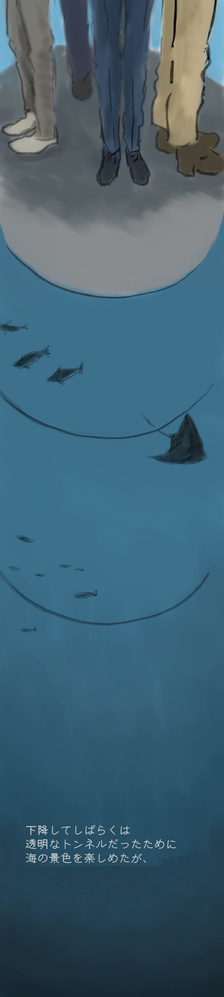
ギュ～ン

途中、船舶の航行のため
海中に潜る箇所もあった。

おお、すごいな



沖に浮かぶ人工島に到着すると、
そこから海底エレベーターで下降する。



下降してしばらくは
透明なトンネルだったために
海の景色を楽しめたが、

光が届かなくなるほど深くなると
厚い壁に境界を遮断された。

数十分も下降し
ようやく施設に到着した。

施設は厳重に管理されており、
日々の放射能観測や
危機管理などについて
説明を受けた。

核燃料と核廃棄物の
入出庫台帳を確認し、
実際の施設も見学した。

その日も、
書類上の齟齬は無く調査を終えた。

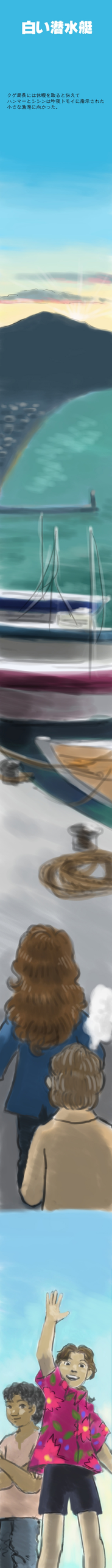
深海底地層下枯燃料埋蔵施設の調査を終え、
その足ヘンマーとコンスは、
海辺いのさびしいストランのテラスで
夕食をとっていた。

黄色いハワイアンの男

内部資料でしょ？
そんなのどうにでもなる。
これが僕らがモニターしている
表です。
これは・・・
動いているな。
わかりますか！
さすが元原発テロリスト！
関係ない！
でもどちらの資料が
虚偽かはわからないな
衛星からの温度監視を
詳細に見れば
汐かるかもしれない。
本部に頼んでおこう。
そうだ、
今でも一カ月に一度は
あの原発と埋葬地股で
トラックが行き来してますよ。
そのトラックの中身を
調べる元気がありそうだな。
調べたいんですが、
トラックには軍物資とは
書かれていない、
秋型保護資料も
運搬しているということで、
それ以上は民々市民には
調査できないんです。
それより明日
原水の漏水解で埋葬地股のばくに
潜りませんか？
見せたいものがあるんです。
じゃ、明日朝5時に来て。

白い潜水艇

クグ局長には休暇を取ると伝えて
ハンマーとシシンは特急トモイに指示された
小さな港湾に向かった。



見てください

埋蔵施設の建築用ブロックではないのか？

オレも最初はそう思ったんですが、どうも微量の放射線が検知できるんです。

確かに放射能が
検出されているな。
放射線量が上がってきてる。
あのブロックに亀裂があるな。
線量計を近づけてくれないか？

線量計の数字が極端に上昇した。

もういい、
これ以上は危険だ！

核廃棄物？

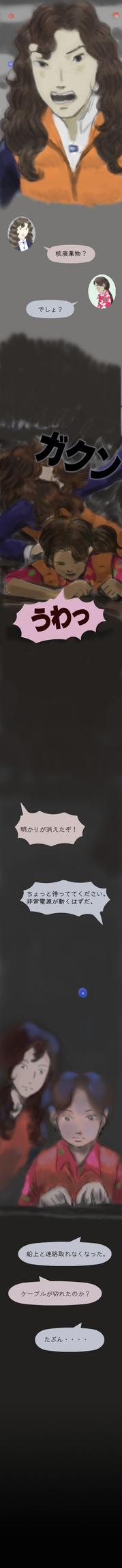
でしょ？

ガクン

うわっ

明かりが消えたぞ！

ちょっと待っててください。
非常電源が動くはずだ。



船上と連絡取れなくなった。

ケーブルが切れたのか？

たぶん・・・・

うわっ
ズン！

だ捕

国有地での無許可での
掘棄の疑いで拘束する！
ピッ
離せよ！

高速巡視船が近づいた時に切れてしまったようだな。
わざとやりやがったな！
まさか
私は国際エゴ保証局のものだ。かつ入国と話をさせてくれ。
それは嫌ってからかっいどうぞ。ここではわれわれの法に従っていただく。あなたは欧アル連度の罪もある。
だから私はエアなんだって！
黙れ！
ガシッ
ハンモー・・・

ピピッ
ピピッ
カチャ
カチャ
ピッピッ
ピー
大型海獣がケーブルを
食いちぎりやがったのかな？
船上で何かあったのかもしれない。
とにかくいったん上がろう。
そうだな
まだな、
これ以上浮上できない。

黒い潜水艇

ガコン
なんだ！？
何かぶつかったか？
機体が揺さやがった！
あれは？
何者だ？
ソナーで通信しても
反答がない！
少なくとも
敵性はされてないようだな。
ちくしょう！
よけされない
ガコン
ガガガ
おい！
ここで発砲しないでくれよ！

大丈夫
ガチャ
え？
ズン
石がぁ！
次はこっち。
ガチャ

へへ
逃げていきやがった。

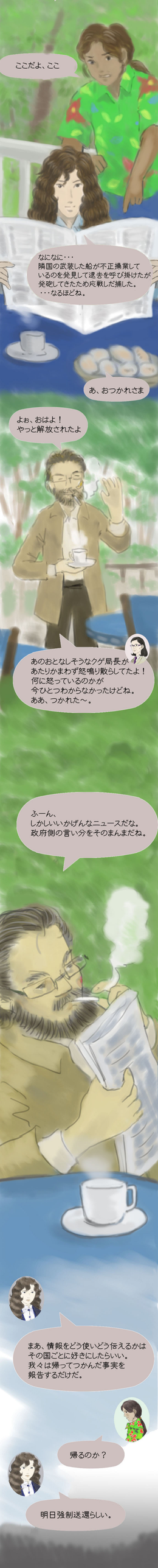
あんた、どんな魔法を
使ったんだい？
数百の衛星からの
小さなレーザー光を
一点に集めることができる。
そりゃ、危険すぎる。

あとで使用時の正当防衛の
証明書を作成する必要があって、
それが結構面倒なんで
皆使いたがらない。
まさか自分が使うことになるとは。

強制送還

翌朝

ザザッ
ガサッ
まったくフェイクニュースもいいところだ。
おはようトモイ今日は緑か。
バサッ
見てよ、この新聞。


ここだよ、ここ
なになに･･･
隣国の武装した船が不正操業しているのを発見して退去を呼び掛けたが発砲してきたため応戦した捕した。
･･･なるほどね。
あ、おつかれさま
よぉ、おはよ！
やっと解放されたよ
あのおとなしそうなクゲ局長があたりかまわず怒鳴り散らしてたよ！
何に怒っているのかが
今ひとつわからなかったけどね。
ああ、つかれた～。
ふーん、
しかしいいかげんなニュースだな。
政府側の言い分をそのまんまだね。
まあ、情報をどう使いどう伝えるかはその国ごとに好きにしたらいい。
我々は帰ってつかんだ事実を報告するだけだ。
帰るのか？
明日強制送還らしい。

……
そんなしけた顔をするな。
大丈夫。
我々は単なる先発隊で、
これまでつかんだ情報で
十分なんだ。
あとは実働部隊がやってくれる。
我々は帰るが来週は原発の
輸送トラックの強制調査が入るし
近く海底調査も
本格的に実施することになった。
海水温度のモニターも裏が
取れそうだと報告があった。
小さなほころびでも
明確にさえなれば
そこから流れは変わる。
今回はキミの おかげだ。
そうそう、
潜水艇の修理代は
エアから出してもらえるそうだよ。
そうか・・・
よかった！
なんか、急に腹減ったよ
ははは
次の日、
ハンマーとシンは強制送還となった。

ハンマーとシシンは
A国から強制送還された。
そして一週間。

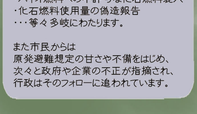
帰還後に

それがうわさの
「正当防衛証明書」
ですかね？

後で
あなたの署名も
もらいに行きますよ。

その調子だと、
まだこのニュース
見てないんじゃない？

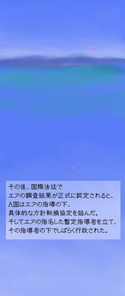
先週行ってた
A国のニュースだ。



A国のスーパーエコ法違反は
次の通りです。
・原発の稼動状況の偽造
・核廃棄物の不正処理と環境汚染
・再生可能エネルギー普及のための
　国際エコ補助金の不正取得
・国際エコ補助金の横流し
・再生可能エネルギー事業に不利な行政
・バイオ燃料への不許可な化石燃料混入
・化石燃料使用量の偽造報告
・・・等々多岐にわたります。

また市民からは
原発避難経路の甘さや不備をはじめ、
次々と政府や企業の不正が指摘され、
行政はそのツイロ―に追われています。

これらに対し人国首相は会見で
「私は国民から民主的に選ばれ、
圧倒的な支持を得てきた。
またこれらの方々は前任者の時代から
行われてきたことだ、
誰令にこれらのことを糸前している。
責任は私一人にあるのではない。
この国の全ての人が負うべきだ。」
という主旨の発言をしており、
現政権の支持率は一前に急落しました。



その後、国際法廷で
エアの調査結果が正式に認定されると、
人国はエアの指導の下、
具体的な力針転換協定を結んだ。
そしてエアの指名した暫定指導者を立て、
その指導者の下では少し仟政された。

それらの決定を待たずに、
人国の首相や大臣は逮捕に追いやられ、
当時議会の過半数をとめていた
政党の議員はとんどんと全失っていた。

あとがき：
◆私は持続可能でエコロジカルな分散型社会をのどかに描く
「未来エコファンタジー」というシリーズのマンガを長く作ってきました。

2016年にアニメ「攻殻機動隊」を見ていて思いついたのが、
エコロジーの厳しい法律ができ、その法を守る側が
それにあらがう者たちと戦う、というアイディアでした。

それは自分の思い描く未来が、
遠くかすんで見えるいらだちもあったと思います。

◆ただアクションのあるマンガは自分で描ける気がしなかったので、
2017年にいったん文章で形にし、翌年マンガの方が見てくれる
人は増えるだろうという理由で、仕方なくマンガにしました(笑)。
今風にスマホの小さな画面でも快適に読める、縦に流して読んでいく
いわゆる"縦スクロールマンガ"という形にしました。

◆言いたいことが最低限分かる程度のざっくりした絵柄で描いてます。
ざっくりした絵ということもあり、最終的には全部パソコンで描きました。
私が紙にマンガを描く時は、下描きをしペンでキッチリと輪郭線を
仕上げてから、その後陰影など面を描き画面を作りますが、
パソコンでは逆で、まず大雑把な面を描きある程度形が決まってきたら
輪郭線を引き、画面を仕上げていく描き方をしました。
それはまるで日本画と油絵の描き方の違いに似ている気がします。

またメディバンペイントという無料のお絵かきソフトを使ったのですが、
サクサク軽く描けて、色や筆の大きさをショートカットキーで素早く
変更できる技を覚え、頭の中のイメージをすばやく形にできる事が
できたのもパソコンで描けた大きな理由です。ありがとうございます。

おくづけ：
「国際エコ保証局　調査員ハンマー」(マンガ版)
制作：2018年　　2019年4月:P120人工衛星画像追加
著作：秋元なおと
ツール：MediBang Paint(描画ソフト)

オマケのブレイクタイム ♪

ハンマーとシシンはA国調査中のある日
地元スーパーに立ち寄った。

きっとくすぶっている
火種はあるはずだ。